

すぎのこだより

このたびの台風19号により、被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
私どもは、福祉の面から、できる限りの支援をさせていただければと思います。
福祉についてのお悩み等ございましたら、お近くの施設・事業所までご相談ください。

目 次

2頁・3頁	【利用者ルーム】	～特集～地域交流秋祭り
4頁・5頁	【本 部ルーム】	「最後の砦」・事業報告
6頁	【職 員ルーム】	職員リレー
7頁	【秋の味覚特集】	フードライブ・商品紹介
8頁	【守る会ルーム】	【ボランティアルーム】
	【お 知 ら せ】	【みんなのへや】

【社会福祉法人すぎのこ会】

法人ホームページ

<http://suginokokai.or.jp>

(スマホ版)

<http://suginokokai.or.jp/sp>



地域交流秋祭り

～ 特集 ～



福祉用具体験



小山高専ロボットサークル

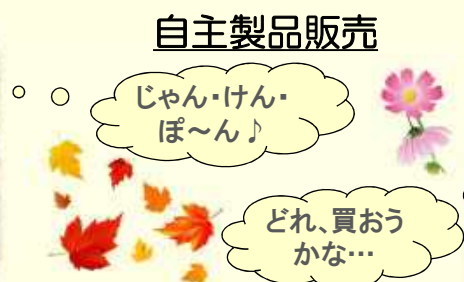


いわぴーcafe

次は何を
食べる？



栃木シティ・Gracesも参戦！



自主製品販売

じゃん・けん・
ぽ～ん！

どれ、買おう
かな…



ナイス
シュート！！



岩舟小学校合唱部



岩舟中学校吹奏楽部



よつ葉ソーラン&フレンズよさこい

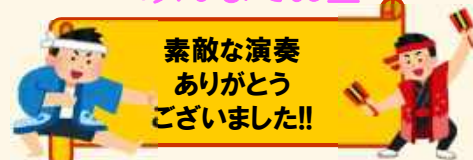


たくさん
食べるぞお～

みんなで
ピースV(-.-)V



みんなでお昼～



素敵な演奏
ありがとう
ございました!!



天候が心配されましたが
無事に開催することができ
ました。
地域の皆さんと楽しい一日
を過ごしました!!



みんな、たのしかったね!! がんばったよお～





『最後の砦』

《すぎのこ会理事長 岩崎 俊雄》

少子高齢化、地域社会の脆弱化等が一段と進む中であって、地域包括ケアシステムの構築、さらに地域共生社会の創造が大きな課題となっています。このような中であって、社会福祉法人は全ての自治体に存在する社会資源であり、既存の社会福祉制度、社会保障制度では対応が困難な地域ニーズに積極的に対応することが求められるに至っています。

その社会福祉法人の数は全国で2万強ありますが、収益規模別では年間収益1～2億円が最も多く、平均でも5億円であり、事業展開をより積極的、強固に推し進めるため、法人間連携や協働化、大規模化等の議論が始まりました。尤も、法人の中には歴史や理念、経営方針の違い等から否定的な意見も多く、さらに、新たな社会福祉法人が年間200件近く認可されている現状にあることも事実です。

しかし、地域によっては経営危機に陥る危険性のある法人も既に存在していますし、冒頭申しあげた2040年問題が大きくクローズアップされる中で、地域の期待や役割に応えるためにも、経営の協働化・大規模化は避けて通ることができない課題であると認識しています。

そんな中であって、9月の定例県議会が開催され、日向野県議が一般質問に立ちました。氏は、障害者福祉を政治の原点と捉えているというだけに、持ち時間のほとんどをその問題に集中させ、早期発見・早期療育、教育、就労、親亡き後対策等、障害者福祉に懸ける想いが大きいことを再認識させられました。特に、地域共生社会の時代にあって、障害者も地域の一員として地域の中で生活していくのが基本であるとしつつも、それでもなお、地域生活支援拠点、グループホームそして障害者支援施設の必要性を訴える姿勢には、福祉の第一線を担っているひとりとして、頼もしく感じられました。

障害を持って生まれた我が子に負い目を感じながらも、ひとりの人間として成長し人並みの生活をさせてあげたい、人並みの喜びを味あわせてあげたい、そう願わない親がいるのでしょうか。親亡き後も、障害者本人のための安全で、安心できる、安定した、質の高いサービスが完備されているなら、今は頑張れる、本音で言える施策展開が望まれているのではないのでしょうか。

障害者、特に障害が重い方にとっては、最後の砦となるのが障害者支援施設であり、その機能が整った施設の整備が最優先されなければならないと考えています。その一環として、ひのきの杜の増築を主とする、ひのきの杜共生そしてけやきの家の再編を何としても実現させたい、日向野県議の一般質問を視聴し、その思いを強くしています。



お知らせⅠ

平成30年度の主な事業報告

I 総括事項

- 1 評議員会(2回)・理事会(6回)・第三者委員会の開催
- 2 内部管理体制の整備、法人組織・機能の充実
- 3 ガバナンスの強化・コンプライアンス体制の構築
- 4 権利擁護・虐待防止・苦情解決等の体制整備
- 5 透明性の向上・財務規律の強化
- 6 地域で支える福祉システムの構築
- 7 地域における公益的な取組
- 8 人材の確保、育成と適切な人事、労務管理
- 9 施設・事業所等の基盤整備※
- 10 施設及び事業の適正、公正な経営

※9 施設・事業所等の基盤整備の概要

- (1) もくせいの里本館外壁改修工事
- (2) ひのきの杜・ひのきの杜共生外壁修繕塗装及び防水シート改修工事
- (3) けやきの家貯水槽整備工事
- (4) 送迎等車両整備(5台)

II 社会福祉事業

1 第一種社会福祉事業

- (1) 障害者支援施設「もくせいの里」
- (2) 障害者支援施設「ひのきの杜共生」
- (3) 障害者支援施設「ひのきの杜」
- (4) 特別養護老人ホーム「みすぎの郷」

- (4) 多機能型事業所「あすなろ」
- (5) 多機能型事業所「あすひ」
- (6) 多機能型事業所「ひまわり」
- (7) 複合型事業所「やまと」
- (8) 多機能型事業所「みずほの家」
- (9) 共同生活援助事業所「花水木」
- (10) 共同生活援助事業所「わたすげ」

2 第二種社会福祉事業

- (1) 多機能型事業所「すぎのこ」
- (2) 多機能型事業所「けやきの家」
- (3) 多機能型事業所「愛晃の杜」

III 公益事業

1 日中一時支援事業

2 居宅介護支援事業

平成30年度財務諸表

I 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	892,962	流動負債	277,303
固定資産	4,393,228	固定負債	347,219
		純資産	4,661,668
資産合計	5,286,190	負債・純資産合計	5,286,190

II 事業活動計算書・資金収支計算書

(単位:千円)

資金収支計算書		事業活動計算書	
科目	決算額	科目	決算額
事業活動収入計	2,097,628	サービス活動収益計	2,050,734
事業活動支出計	1,799,857	サービス活動費用計	1,943,778
事業活動資金収支差額	297,771	サービス活動増減差額	106,956
施設整備等収入計	6,827	サービス活動外収益計	46,893
施設整備等支出計	64,492	サービス活動外費用計	26,097
施設整備等資金収支差額	△57,665	サービス活動外増減差額	20,796
その他の活動収入計	10,147	特別収益計	9,707
その他の活動支出計	182,890	特別費用計	1,265
その他の活動資金収支差額	△172,743	特別増減差額	8,442
当期資金収支差額	67,363	当期活動増減差額	136,194
前期末資金支払資金残高	653,461	前期繰越活動増減差額	2,263,300
		当期末繰越活動増減差額	2,399,494
		積立金取崩額	0
		積立金積立額	157,000
当期末支払資金残高	720,824	次期繰越活動増減差額	2,242,494

※ 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得ます

職員ルーム

職員激励会

10月1日付で“もくせい
の里”から異動する職員
の激励会が行われました。
異動先でも頑張ってく
ださいね！



職員リレー



今年で8年目になります。

主に就労支援に入っていますが、利用者さんと一緒に作業を行うため利用者さんがいないと仕事にならず、利用者さんあってのこの仕事だなとつくづく思います。

日々の仕事の中で、支援らしい支援ができていいのかといわれると「はい」と答える自信がありませんが、ひとつひとつ業務をこなしていく中で寄り添う気持ちを忘れずにいられたらと思います。

すぎのこ 柴田憲司



福祉の専門的知識がない状態からのスタートで、不安いっぱいだった当初...今では入職して4年目になり、様々な業務を行っています。教育系の資格を持っていたため、入職を決めた際、あまりいい顔をしなかった親から「知り合いの子供が仕事を辞めてく話をよく聞くけど、あなたは自分にあう場所を見つけられたんだね」と言われました。これも優しく支えてくださる皆さんのおかげです。これからも自分らしく!頑張っていきたいです!!!

愛晃の杜 寄川恵莉子

すぎのこ会に入職し、あっという間の6年目になりました。みずほの家では就労支援、ひのきの杜では入所支援を経験させていただきました。今までにつらく心が折れそうな時もたくさんありましたが、そんなときは利用者さんの笑顔でパワーを充電させてもらっています！私ばかりが元気を貰うのではなく、利用者の皆さんを笑顔にできるよう、日々素敵な思い出を作れるよう、これからも精一杯努めていきたいと思っています。

ひのきの杜 川田良実



台風19号被害の避難所対応、県からの要請 DWATチーム(1班)『すぎのこ会』チーム員を派遣



10月28日(月)から、災害福祉支援チーム(DWAT)『すぎのこ会』4名(第1班)が、栃木県DWAT初の支援活動に入りました。全事業所・職員が活動のバックアップをしています。

いざという時に役立つ。そして、地域になくてはならない『すぎのこ会』として、全力で活動していきたいと思っています。





フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンクや福祉施設、こども食堂などへ寄付する活動です。すぎのこ会も参加している、栃木県内の社会福祉法人が連携して取り組む地域の公益的な取組（通称『いちごハートねっと事業』）で先日このフードドライブが実施され、職員の皆さんに呼び掛けて集まった食品を提供しました。

地域社会への貢献や家庭での食品ロスの低減など、とても意義のある活動です。ぜひ、皆さんもすぎのこ会と一緒に取り組んでみませんか。



★ 秋の味覚特集 ★



ちよっ蔵すぎのこ



みずほの家「ちよっ蔵すぎのこ」と言えばイモフライです！じゃがいもは、すぎのこで収穫したキタアカリを使用しています。じゃがいものホクホク感を味わうには、やはり揚げたてがおすすめです！

また、冬季期間限定でモツ煮も作っています。いつから始まるのか等、詳しくは店舗までお問い合わせください。

ちよっ蔵すぎのこ TEL 0282-20-1112



すぎのこ

すぎのこでは、法人所有の畑で野菜を栽培しています。月に1回の朝市で販売したり、『ふれあいの郷しずわ直売所』に卸しており、地産地消という形で育てた野菜を地域に還元しています。秋は落花生やサツマイモ、里芋、冬にかけては白菜や大根など季節野菜が目白押しです。採れたての新鮮野菜をぜひご賞味ください！



守る会ルーム

すぎのこ保護者会では、毎年お盆の前に岩船山にある慰霊碑の清掃を長谷川所長と一緒に実施しています。

今年も8月9日(金)に15名の方が参加し、みんなで楽しく作業を行い、保護者の交流の機会にもなっています。暑い日でしたが木々に囲まれた中、綺麗になったお地蔵様のお顔を見ると私たちも清々しい気持ちになりました。

すぎのこ保護者 須釜 早苗



ボランティアルーム

【ボランティア関係】(順不同)

- ・太田啓子様 ・木野内 昭、光子様 ・片山 隆様 ・佐藤次雄様 ・中村郁美様 ・石川長治様
- ・栃木市民生委員、児童委員コーラスクラブ様 ・ますます元気サポーターOKK5様
- ・ますます元気サポーターにっこり様 ・ますます元気サポーターひまわり様
- ・折り紙ボランティア 石塚雅子様 ・岩舟町傾聴ボランティア「ピーちゃん」様
- ・五家英子とみんなで楽しくおどろう会様 ・栃木シティフットボールクラブ様
- ・よさこいフレンズ&よつ葉ソーラン様 ・小山工業高等専門学校ロボットサークル様
- ・シルバー大学校同窓会栃木市大平支部様 ・いわびーcaf66名様
- ・岩舟中学校吹奏楽部様 ・岩舟小学校合唱部様 ・埼玉純真短期大学生3名様
- ・栃木太鼓 和蔵会様 ・ヘアサロン セゾン様 ・オカリナ演奏 アノン様
- ・栃木腹話術研究会様 ・NPO法人 オアシス様 ・演奏ボランティア 吹竹会様
- ・マジックショー 前田英雄様 ・アビリティーズ様 ・各施設事業所の保護者会様

【寄付】(順不同)

- ・小島佳代子様 ・深津光江様 ・寺内 猛様 ・小島敏夫、嘉子様
- ・小島健一様 ・藤野正勝様 ・川原井清司様 ・(株)横山工業製作所様
- ・浅野クリーニング様 ・栃木市大平町在住の匿名様 ・亀田歯科様
- ・Abakat(アバカット)様 ・Teraコーポレーション様 ・栃木腹話術研究会様
- ・古河あのことろ会様 ・栃木県シルバー大学校南校学生自治会様
- ・ひのきの杜保護者会様 ・ひのきの杜共生保護者会様 ・すぎのこ保護者会様



お知らせⅡ

『地域交流市』

日時：毎月第3木曜日
場所：やまと
※問合せは、やまとへ

『供養式』

日時：11月17日(日)
場所：岩船山

『Yuki 個展』

日時：12月17日(火)～22日(日)
10:00～18:00(最終日16:00)
場所：まちかど美術館(小山市)
※問合せは、ひのきの杜へ



みんなのへや

左の写真は、けやきの家作業班で描いた絵を、段ボール額縁を作り『秋祭り』にミニミニ個展を開きました。

右の写真は、けやきの家デイ班で創作活動で作成したカレンダーです。毎月カレンダーが変わり、楽しい日々を過ごしています。



各施設事業所の作品、みんなで作った壁画や絵、イラスト等、紹介したいものを募集しています。